

会計が強くなると、経営も強くなる  
 会計を経営に活用するまでの“3ステージ”

日本人経理がない、  
 すべての企業様へ!



西川 和輝  
 (日本国公認会計士)

BBS (Thailand) Co., Ltd.  
 シニアコンサルタント

早稲田大学商学部在学中に公認会計士合格。卒業後、あずさ監査法人に入所。上場、中小問わず幅広い規模・業態の監査に従事、その経営を学び、現在に至る。

# ① 自社経理への切替えを支援

現地経営者の大きな悩みが会計への対応だ。多くの企業では、記帳代行によるミスが多い、期限に間に合わないなど問題を抱えているもの、経理担当の日本人がいないことから、解決方法が分からないという現状がある。

そこで ArayZ では、日本国公認会計士である BBS タイランドの西川氏へ「会計のあるべき姿」について3回にわたりインタビュー。プロによる、現地経営者のためのアドバイスを今回から3か月連続で紹介する。

## 乗り越えるべき3つのステージ

タイの会計実務の課題は大きく2点あると西川氏は言う。

「まず1点目として、多くの企業様で、『会計数値が不正確かつ出来上がりが遅い』という問題があります。また2点目として、これは私の問題意識ですが、多くの企業様では『会計情報が経営に活用され

ていない』と感じています。会計の本来の目的の1つは**会社の実態を数字で表現し、それを経営判断に活用すること**です。会計数値という確かな情報に基づいて経営判断を行うことで、感覚だけに頼ることのない、より安定感のある会社経営が可能です。しかし、「法律で求められているため仕方なく」経理を行い、数字作りに終始してしまいう企業様も多いのが実情ではないでしょうか。

「正確かつタイムリーな経理」と「会計情報の経営への活用」を実現するためには、

- ① 記帳代行から自社経理への切替え
- ② 社内不正などの自社経理によるデメリットの克服
- ③ 会計情報の経営への活用準備

という3つのステージを乗り越える必要があると考えています。今回は、①記帳代行から自社経理への切替えについてお伝えしたいと思います。

### 自社経理が

#### 会計の経営活用への第一歩

「自社経理のメリットとして、まず正確かつタイムリーな記帳の実現があります。自社経理であれば、記帳代行と比べ、コミュニケーション

の戦略にフィットする会計数値の準備が可能になります。経営判断のためにどのような情報を用意すべきかは、業種や戦略、状況により大きく異なります。例えば、売上高および原価はターゲットとするセグメント、つまり、戦略の判断を行う単位ごとに数字を把握する必要があります。この区分けは当然会社ごとに異なります。しかしながら、記帳代行では、そこまでの区分けのアレンジは対応できません。それは、記帳代行のモデルがさまざまな会社の記帳を標準化して効率的に行うことで、低コストを維持するものであるためです。その点、自社経理であれば、自社の戦略に沿った会計情報をオーダーメイドで作成可能です。」

「多くの企業様では日本人経理がおらず、非常に苦勞をなされていると思います。そういった企業様を支援することが私どもの使命だと思っています。我々BBSを日本から来た経理人員だと思つて活用してほしいです。」

西川氏は次のように熱く語る。

次回(6月号)では、次のステージである「②社内不正などの自社経理によるデメリットの克服」についてお伝えします。

### 自社経理への切替え方法

しかし、切替えるといっても方法が分からない方も多い。そこでBBS タイランドが提供するのが「自社経理切替えサービス」だ。B

無料相談も受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください!



株式会社ビジネスブレイン 太田昭和

設立: 1967年8月  
 売上高: 77億16百万円<単体>/169億73百万円<連結>(2014年3月)

BBS (Thailand) Co., Ltd.

2 JASMINE 12th Fl., Soi Prasarnmitr (Sukhumvit 23), Sukhumvit Rd., North Klongtoey, Wattana, Bangkok 10110

お問い合わせ: TEL:099-009-5301(西川)  
 E-mail:knishika@bbs.co.jp HP:www.bbs.co.jp/th